

# 和歌山県立海南高等学校

## JRC部

高校生ボランティア・アワード2024

### 活動の目的

## 『地域に寄り添った活動』

私たちは、地域に寄り添った活動を目的にしています。日常的には関わる事のない地域の方々とも、様々な活動を通して関わる機会を増やそうと工夫しています。例えば、地域清掃で校外に出て行けば、「あいさつ」を積極的に行ったり、話しかけたりしています。私たちは、活動体験を通して、地域の現状や課題を考え、私たちにできることを探究していくことが大切だと思っています。

### 【地域まちづくりイベント(てとこと市)】

フリーマーケットやイベントの会場準備や設営、来場者の受付や案内を行っています。県内外を問わず多くの方々と話ことができ、良い機会となります。会場の設営や準備は朝早くからとても大変ですが、若者のエネルギーを発揮して頑張っています。ボランティア団体の方々で作った自家製カレーの販売のお手伝いもしました。その売り上げで募金をしているそうです。



### 【ベルマークの回収】

学校の各クラスに小さい回収BOXを設置しています。チラシやポスターを作成し、回収の案内をしています。毎年ニュースとなるような災害に対する被災地募金になればと考えています。



### 【wbs和歌山放送ラジオチャリティーミュージックソン】

ラジオを通じて、目の不自由な人や身体に障害のある人への募金を呼びかける活動です。参加したのは12月の後半で、とても寒かったです。最初は、JR和歌山駅前を歩く人に、募金のご協力をお願いする声かけには勇気がいりましたが、「寒い中ご苦労様」と言ってもらえ、すごく嬉しくて勇気ができました。私自身が小さな力になれた喜びと、募金の大切さがわかりとても充実しました。



### 【和歌山城大清掃】

6月に行われる植樹祭の前に、大規模な清掃活動があり参加しました。たくさんの方々の地域の方々や企業の方、高校生などが集まりました。あつという間の清掃時間でしたが、まだまだ、やり残している気がしたので、日々の清掃が大事だと思いました。



### 【6月豪雨災害被災者見舞い訪問】

学校がある地域の豪雨災害であったことから、高校生をはじめ多くの方々のご協力があり、家財の運び出しや泥だしが行われました。また、被災に遭った方々の家に市役所のかたとお見舞い訪問を行いました。私たちも参加するなか、被災にあっている方々から感謝の言葉をたくさんいただきました。苦しいときこそ、助け合うことが必要だと強く感じました。



### 【JRC部 3年12名 2年6名 1年11名】



### 【今後の展望・夢】

## 『希望ある未来へ 新しい風を吹かせよう』

私たちが所属するJRC部だけの活動ではなく、学校全体を巻き込んだ取り組みにしていきたいです。現在、少しずつですが、一般の生徒の参加が増えてきています。私たちの活動を発信し、みんなが関わりたいと思えるようになっていきたいです。

さらに、昨年の豪雨災害の経験から、「防災教材」をつくってはどうかという話し合いをしました。小学生や地域の方に届けられる防災教材を企画したいと思います。少しでも「防災や減災」の意識を自分事のように取り組んでいきます。

